

第5次

飯山市行財政健全化プラン実施計画

主要な取組みと取組結果

第5次行財政改革大綱体系		本計画で具体的な取組み等を定める事項
(1) 効率的な行政システム構築	組織・機構の見直しと効率的な事務事業の執行	① 本庁・活性化センター・出張所の業務及び組織体制の見直し
		② 臨時・嘱託職員の配置の弾力化
	人材の有効活用	③ 人事評価を活用した能力向上・人材育成
	定員の適正化	④ 定員適正化計画に基づく職員数の適正化
(2) 長期的な視点に立った持続可能な財政改革の推進	使用料等受益者負担の適正化	⑤ 受益者負担の適正化
	新たな歳入確保につながる取組み	⑥ ふるさと寄付金の推進
	優先度、成果等に基づく事業の整理と合理化	⑦ 補助金・負担金の適正化と外部評価制度の導入
	公共施設等のあり方の見直し	⑧ 保育園、小学校等の適正規模の見直し
	公営企業等の経営健全化	⑨ 上水道と簡易水道等の経営統合 ⑩ 公共下水道と農業集落排水施設等の統合

第5次飯山市行政健全化プラン(実施計画)の取組状況

「効率的で質の高い行政運営の推進」
「安定と活力ある財政運営の充実」による自立した自治体経営の実現

項目	取組結果	目標達成
成果指標	目標又は目標値 基金残高(H29年度末決算)15億円以上	目標達成 達成
	約44億円	達成

第5次行政改革大綱のうち、健全化プランとしてまとめた主要な取組み「10」について

達成数	7
未達成	3

項目	目標又は目標値	取組結果	目標達成	期間内等 削減・積立 額(百万円)	目標値からの 負担増加額 (百万円)	備考
① 本庁・活性化センター・出張所の業務及び組織体制の見直し	活性化センター嘱託職員化	嘱託化したセンターの数6(全体10)H27より順次	達成	56.4		
② 臨時・嘱託職員の配置の弾力化	平成29年当初 240人程度 H27-H29年度までの賃金総額を約1%削減	H29年272名(目標値より約30名の増)6.6%の増	未達成		75.2	H29年度の目標値を240人として算出
③ 人事評価を活用した能力向上・人材育成	人事評価制度の本格実施(H28～) ・能力・実績に基づく人事管理の徹底 ・職員数を抑制しつつも組織全体の士気高揚と公務効率の更なる向上を図る。	人事評価制度の本格実施(H28～)	達成	-	-	
④ 定員管理計画に基づく職員数の適正化	人件費削減目標達成に向けた職員数の適正化(H30年当初 232人)	H30年当初 228人	達成	474.0		
⑤ 受益者負担の適正化	下水道使用料等の適正化	料金改定前に、施設統合、運営計画について取り組んだ。	未達成			他の使用料等については、大綱中でとりまとめ。アセットマネジメントが策定できなため、平成30より料金の適正化に取り組む。
⑥ ふるさと寄付金の推進	平均7千万円以上の積立(H27～H29)	年平均 4.3億円の積立	達成	1,293.7		約13億円の積立につながった。
⑦ 補助金・負担金の適正化と外部評価制度の導入	外部評価制度の導入及び評価結果を予算、施策等への反映	内部評価及び施策等への反映は実施	未達成			補助に対する効果の評価について、今後内容等を検討する。
⑧ 保育園、小学校等の適正規模の見直し	適正規模検討組織の設置	保育園・小学校課題検討委員会設置	達成	-	-	施設の個別管理計画については、平成30年度から取り組む。
⑨ 上水道と簡易水道等の経営統合	上水道事業と簡易水道事業の経営統合	繰入金 約10.9百万円 の減(H29)	達成	10.9		
⑩ 公共下水道と農業集落排水施設等の統合	農集施設2カ所の統合 統合による維持管理費削減 木島南部統合分 約250万円/年、常盤第一統合分 約160万円/年	統合 常盤第一 H27年度末 木島南部 H25年度末	達成	20.8		このほか、施設の統合により、施設長寿命化のための費用(見込み)がからなくなかった。
				1,855.9	75.2	

期間内 削減・積立額

1,780.7

約17.8億円

② 臨時・嘱託職員の配置の弾力化

<p>【現状】</p> <p>令和2年度当初の臨時・嘱託職員数</p> <p>H26 212人 H25 239人 H24 245人 H23 239人 H22 223人</p> <p>(H23より増加は減少は、単位は、人)</p>	<p>【目標】</p> <p>◆ 令和2年度決算見込みから平成29年度までの資金繰り差を1%削減 (H29 決算 H27 決算)</p> <p>◆ H29 当初 210人未満を目標</p> <p>【取組みの概要】</p> <p>◆ 労務費削減のための臨時・嘱託職員数の抑制</p>
--	--

計画

26	27	28	29
職員数抑制	職員数抑制	職員数抑制	職員数抑制
決算見込額 3.60(億円)	決算見込額 4.02(億円)	決算見込額 4.59(億円)	決算見込額 (210人未満)
臨時・嘱託職員数 (213人)			
【報告課】 労務課			

実施内容

項目	H26	H27	H28	H29
臨時・嘱託職員数	243	248	260	272
決算額(億円)	5.4	5.9	6.0	集計中

今後の予定・見込等目標とする項目を変更する場合、新たに目標値を設定する場合は、その項目についても記入して下さい。

項目	H30	H31	H32	H33	H34
臨時・嘱託職員数	267				
決算額(億円)	(予算額)5.7				
取組の内容	施設数や業務量等を勘案して必要な職員数を確保する必要がある。		会計年度任用職員制度に沿って労働条件を見直しを待たない状況。支出は増加する見込み。		

目標の達成状況(該当するところに「○」を入れて下さい)

□ 目標達成

○ 未達成

<p>未達成の場合、達成できなかった理由・原因を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正規職員減少に対応した補充 ・新たな行政需要拡大による任用(マイナンバー、ふるさと納税、休日保育、地域おこし協力隊等) ・最低賃金上昇に伴う賃金の上昇 ・社会保険料率の上昇

2 臨時・嘱託職員の配置の弾力化についての取り組む予定・方針等

委託できる業務は委託していくことにより、直接的な人件費は減らせる

【庶務】③人事評価を活用した能力向上・人材育成

③ 人事評価を活用した能力向上・人材育成

<p>【現状】</p> <p>○人事評価制度の試行 ・人事評価制度 (H23～) 人材育成の一環 職員の人材活用</p> <p>・目標管理制度 (H23～) 人材育成の一環 管理者による「毎年度ワンマン 試行」の実施状況の把握</p>	<p>【目標】</p> <p>◆H28～人事評価制度の本格実施 ・能力・実績に基づき人事管理の徹底 ・職位等を明確しつつも組織全体の士気高揚 と公的職責の充ちる向上を図る。</p> <p>【取組みの概要】</p> <p>◆H27 制度設計 試行 ◆H28 本格実施</p>
---	--

26	27	28	29
試行	制度設計/試行	本格実施	→
人事評価 (H24～) 日常評価 (H24～)	庁内組織検討 外部有識者組織検討 制度試行		
【担当課】 庶務課			

計画

実施内容

項目	H26	H27	H28	H29
実施内容		制度設計	本格実施	本格実施

今後の予定・見込等
目標とする項目を変更する場合は、新たに目標値を設定する場合は、その項目についても記入して下さい。

項目	H30	H31	H32	H33	H34
取組の内容					

目標の達成状況(該当するところに「○」を入れて下さい)

目標達成

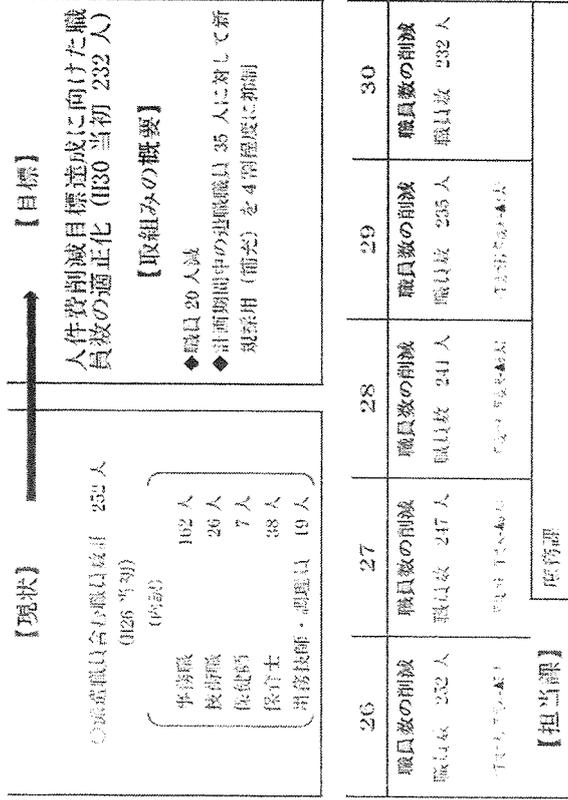
未達成 →

未達成の場合、達成できなかった理由・原因を記載して下さい。

2 職員の能力向上、人材育成に対して取り組む予定・方針等

飯山市職員人材育成方針の改訂

④ 定員適正化計画に基づく職員数の適正化



計画

目標の達成状況(該当するところに「○」を入れて下さい)

目標達成

未達成

— 未達成の場合、達成できなかった理由・原因を記載して下さい。

正規職員数の推移

職員数の適正化	H26当初	H27当初	H28当初	H29当初	H30当初	H26からの減
事務職	163	151	148	143	142	11
技術職	31	29	28	28	27	4
保健師	10	9	10	10	10	0
保育士	38	38	37	36	36	2
出務技師・調理員	20	18	18	15	13	7
合計	252	245	241	232	228	24
目標値						
職員数	252	247	241	235	232	20

実施内容

項目	H26	H27	H28	H29	H30
職員数(人)	252	245	241	232	228
年度当初からの削減数	0	7	11	20	24

今後の取り組み予定等

目標とする項目を変更する場合は、新たに目標値を設定する場合は、その項目についても記入して下さい。

項目	H30	H31	H32	H33	H34
職員数(人)	230	230	230	230	230
年度当初からの削減数	22	22	22	22	22

⑤ 受益者負担の適正化

<p>【現状】</p> <p>供用開始以来実施している下水道使用料等を平成18年度から逐期的に1割に1割を目途として見直し(旧料、旧2割、旧1割)に実施</p>	<p>【目標】</p> <p>下水道使用料等の適正化</p> <p>【取組みの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆受益者負担の適正化及びサービス提供者としての経営努力の成果等を総合的に検証 ◆下水道使用料、土地改良事業の地元負担金等各種受益者負担のあり方の見直し
---	---

26	27	28	29
	下水道使用料見直し 水道料金等意識巡回	見直し結果反映	
【担当課】 上下水道課			

計画

実施内容

項目	H26	H27	H28	H29
実施内容	消費税率改定に伴う上下水道使用料金等の見直し		下水道経営戦略策定	下水道ストックマネジメント策定開始 下水道アセットマネジメント策定開始

今後の予定・見込等目標とする項目を変更する場合、新たに目標値を設定する場合は、その項目についても記入して下さい。

項目	H30	H31	H32	H33	H34
取組の内容	下水道ストックマネジメント策定完了 下水道アセットマネジメント・経営戦略策定完了		消費税率改定に伴う上下水道使用料金等の見直し		

目標の達成状況(該当するところに「○」を入れて下さい)

○ 未達成 →

未達成の場合、達成できなかった理由・原因を記載して下さい。

下水道ストックマネジメント、水道アセットマネジメント等による分析ができておらず、健全経営のための経営戦略が策定されていなかったため。

2 受益者負担の適正化に向けた今後の取組について

将来を見通した実効的な経営戦略を策定し、定期的に見直しを行いながら受益者負担の適正化を図る。

⑥ ふるさと寄付金の推進（歳入確保）

<p>【現状】</p> <p>特産品販売を通じた推進 ◎テレビ、ラジオ等を活用したPR推進 ◎ふるさと寄付金に際する積立金 ◎平成26年度見込み：1,350万円</p>	<p>【目標】</p> <p>1年度あたり平均7千万円以上の積立（H27～H29）</p> <p>【取組みの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆特産品等の充実、PR推進等継続 ◆推進体制再構築 ◆ふるさと寄付金推進を通じた地元企業支援 	<p>→</p>	<p>【担当課】 企画財政課 税務課</p>
26	27	28	29
推進体制充実 関係団体との連携促進 市内事業体相互見直し	ふるさと寄付金推進	ふるさと寄付金推進	ふるさと寄付金推進

計画

目標の達成状況（該当するところに「○」を入れて下さい）

目標達成

未達成

→ 未達成の場合、達成できなかった理由・原因を記載して下さい。

寄付金及び積立金の推移

年度	寄付金額推移	積立額(円)	
H26年度	625,473,086	178,772,303	28.6%
H27年度	1,722,433,096	383,321,000	22.3%
H28年度	1,101,889,841	360,386,000	32.7%
H29年度	1,588,864,023	550,000,000	34.6%

H27～H29の平均積立額 約4億3千万円

実施内容項目	H26	H27	H28	H29
取組内容	ふるさと納税申込み方法の見直し 返礼品強化	推進体制充実による底層による底層の構築 返礼品取扱い事業者との連携促進	総務省による返礼品取扱いの制限 推進体制見直しによる底層の専属化と職員増員 ふるさと納税参加者の公募	総務省による返礼品割合の制限 返礼品割合見直し PR強化の着手 公募による事業者と返礼品取扱いの増加充実
担当課	企画財政課 税務課	企画財政課	企画財政課	企画財政課

今後の取組み予定等
 目標とする項目を変更する場合は、新たに目標値を設定する場合は、その項目についても記入して下さい。

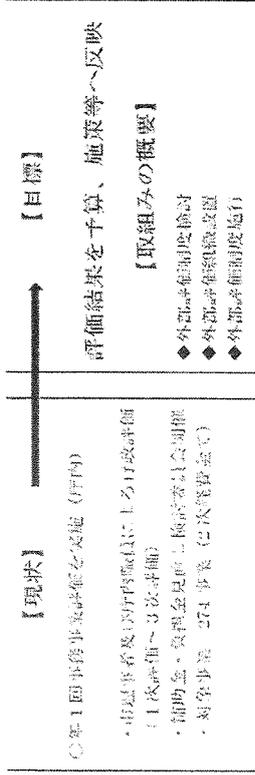
項目	H30	H31	H32	H33	H34
寄付金額	1,000,000,000	700,000,000	700,000,000	700,000,000	700,000,000
積立金	300,000,000	210,000,000	210,000,000	210,000,000	210,000,000

2 ふるさと寄付金の推進に向けた今後の取組について

特産品取り扱いの安定による経済効果への波及を図り、寄付額の3割を超える積立金を確保する。

使い道を明確にしたクラウドファンディング型の寄付募集を展開するため事業課等との連携を図る。

⑦ 補助金・負担金の適正化と外部評価制度の導入



26	27	28	29
<p>制度構築 外部評価制度構築</p>	<p>制度構築・実行 制度構築 評価知識設置 評価（実行） 結果検証 補助金等のあり方検 討</p>	<p>本格実施 検証結果を踏まえた本格実施 特に補助金等につ いてその事業効果 を検証</p>	<p>本格実施</p>

【担当課】 企画財政課

実施内容

項目	H26	H27	H28	H29
実施内容			<p>公共施設総合管 理計画の策定 地方推進交付金 事業の対応</p>	<p>後期基本計画の 策定 地方推進交付金 事業の対応</p>

今後の予定・見込等
目標とする項目を変更する場合は、新たに目標値を設定する場合は、その項目についても記入して下さい。

項目	H30	H31	H32	H33	H34
取組の内容	現状の把握	現状の把握	現状の把握 事業効果の検証 外部評価制度施行 検証結果の反映	本格実施	

目標の達成状況(該当するところに○を入れて下さい)

目標達成

未達成 →

未達成の場合、達成できなかった理由・原因を記載して下さい。

事務事業評価は実施した。
後期基本計画策定が重っており、その中で事業の洗い出し等を行っ
たため。

2	<p>補助金・負担金の外部評価制度の導入について</p> <p>限られた予算の中で、市民協働によるまちづくりに力を入れる等、まち づくりにつなげる補助金の工夫が必要である。</p>
---	--

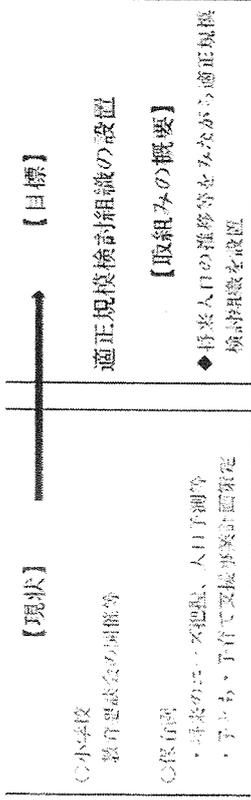
【目標の達成状況(該当するところに「○」を入れて下さい)】

目標達成

未達成 →

--

④ 保育園、小学校等の適正規模の見直し



計画

26		27	28	29
		検討組織設置準備 適正規模の検討強 急設校準備 (状況に応じて)	→	検討組織設置
【担当課】 子ども課				

9

実施内容

項目	H26	H27	H28	H29
適正規模 の見直し		検討組織設置準備→		検討組織設置(保 育園・小学校課題 検討委員会) 保育園分答申
担当課			子ども育成課	子ども育成課

今後の予定・見込等
目標とする項目を変更する場合、新たに目標値を設定する場合は、その項目についても記入して下さい。

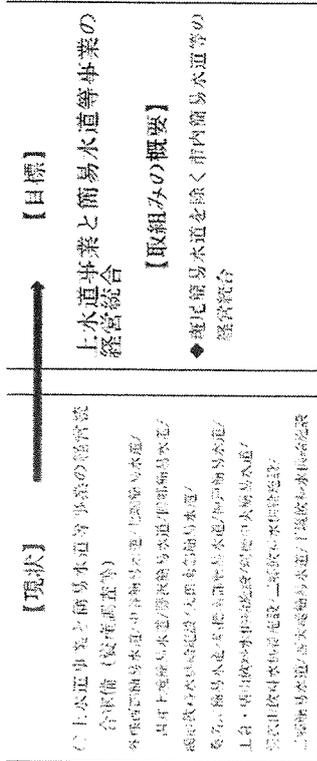
項目	H30	H31	H32	H33	H34
適正規模 の見直し	検討委員会にお ける検討 学校分答申	答申に基づく計画 検討→	答申に基づく計画 策定→	答申に基づく計画 策定→	

--

2 保育園、小学校等の適正規模の見直しについて

保育園は飯山地区統合の答申あり(H29)

⑨ 上下水道と簡易水道等の経営統合



目標の達成状況(該当するところに○)を入れて下さい。

目標達成

未達成 →

未達成の場合、達成できなかった理由・原因を記載して下さい。

計画

26	27	28	29
統合準備	統合準備	統合準備	統合
経営調査は完了	システム導入 認可申請等	→	簡易水道等の経営 統合
【担当課】 上下水道課			

実施内容

項目	H26	H27	H28	H29
実施内容	簡水・上下水道統合事業支援業務委託 (H26～H28)	水道事業経営変更認可申請業務委託 (H27～H28)	対象地区説明会実施 システム整備完了 事業経営変更認可取得 関係関係解決 H29.3.31統合簡易水道等 事業廃止(償還除く)	H29.4.1統合簡易水道 等事業を上下水道事業 に経営統合
統合により 経費等が削減 された額				一般会計からの繰入金 金について10,890千円 の減が図られた。

今後の予定・見込等
目標とする項目を変更する場合は、新たに目標値を設定する場合は、その項目についても記入して下さい。

項目	H30	H31	H32	H33	H34
取組の計画					
2	上下水道と簡易水道等の経営統合について				

⑩ 公共下水道と農業集落排水施設の統合

<p>【現状】</p> <p>公共下水道事業と農業集落排水施設の統合推進（設計、認可変更等）</p> <p>○ 概要（本県管内）の公共下水道処理区域の統合は平成28年度末</p> <p>○ 平成25年度県政管理現勢（公表）</p> <p>数 出 79,060千円 本 局 28,129千円 本県南部 3,837千円 常盤第一 7,542千円</p>	<p>【目標】</p> <p>農業施設（2箇所）の統合</p> <p>統合による維持管理費削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県南部地区 約250万円/年 ・常盤第一地区 約160万円/年 <p>【取組みの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 農集（本県南部）を公共下水道処理区域に統合 ◆ 農集（常盤第一）を公共下水道処理区域に統合
---	---

計画

26	統合	27	統合	28	検討	29
農業集落内施設（統合） 公共下水道処理区域		農業集落内施設（統合） 公共下水道処理区域		更なる施設統合の検討 農集（本県南部） 一カ所（本県南部）		
【担当課】 上下水道課						

実施内容

項目	H26	H27	H28	H29
実施内容	【常盤第一地区】 事業計画の変更 【本島南部地区】 農業施設改修工事	【常盤第一地区】 管きよ布設工事 （年度末 統合） 【本島南部地区】 農業施設改修工事	【常盤第一地区】 農業施設改修工事 農業施設改修業務	【常盤第一地区】 農業施設改修業務
統合した施設数	1	1	2	2
統合した施設名	常盤第一浄化センター（H27年度末統合） 木島南部浄化センター（H25年度末統合）			
統合により経費等が削減された額	【維持管理費】常盤第一浄化センター：937千円/年 木島南部浄化センター：4,740千円/年 【施設の老朽化対策を行わなかったことによる見込額】 常盤第一 約7百万円 木島南部 約9百万円			

今後の予定・見込等
目標とする項目を変更する場合、新たに目標値を設定する場合は、その項目についても記入して下さい。

項目	H30	H31	H32	H33	H34
取組（統合）の計画	統合 【本島、常盤第二、温井地区】 接続管きよ布設工事 接続管きよ実施計画業務	統合 【本島、常盤第二、温井地区】 農業施設改修工事 接続管きよ布設工事	統合 【本島地区】 農業施設改修工事 【常盤第一、温井地区】 接続管きよ布設工事	統合 【温井地区】 農業施設改修工事 【常盤第二地区】 接続管きよ布設工事	統合 【常盤第二地区】 農業施設改修工事

目標の達成状況（該当するところに○を入れて下さい）

目標達成

未達成 →

未達成の場合、達成できなかった理由・原因を記載して下さい。

2 公共下水道と農業集落排水施設等の統合について

平成33年度末までに農集木島、常盤第二、温井の3地区を公共下水道に統合予定